

【人権ハートフルメッセージ】



◇活動内容の説明

本校第1学年対象で津山人権擁護委員協議会、子どもの人権部会真庭地区のみなさんが12月4日、人権教室を実施してくださいました。その後の学活で、身近な人権問題について考える時間を作った。話し合いの中で、「いじめや差別のないクラスにしたい」という意見が出た。一人一人が大切にされるクラスにするために、生徒がおすすめしたい人権メッセージ(名言や格言)を調べ、クラスに紹介、呼びかけを行うことにした。10日間、毎日班ごとに帰りの会で呼びかけ、メッセージは教室前方黒板に掲示。班は、本校の生活班以外に設けているチーム3・4という少人数の学習班で行った。班で1つハートフルメッセージを決め、その言葉を言った人の紹介や、その言葉に込められた意味を発表した。

◇生徒の感想

- ・ハートフルメッセージに取り組んで、人の役に立ってすごいことをした人がたくさんいるとわかったので自分も役に立ちたいと思いました。
- ・いろいろな人の考え方や言葉があって自分の考え方も「自分一人ではなくみんなにメリットがあるような考え方に」変えていきたいと思った。
- ・人権は身近な差別や偏見によっても傷つけられており、全員が意識しなければ終わらない問題だと考えた。普段からの意識が大切。
- ・皆とてもいい言葉を選んで、言葉や人の説明も詳しく説明している班もあってわかりやすかったです。5班のマザーテレサさんの説明と担任の先生の補足のおかげでマザーテレサさんのことをよく知れたし岡山に来たと知って親近感もわきました。どの班も態度も内容もよく、大きな声で下を向かずはきはきと発表していました。